

第36回

日本疼痛漢方研究会 学術集会

テーマ

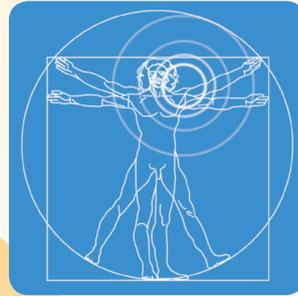
疼痛漢方をいかに継承していくか

現地 + Web 開催のハイブリッド形式で開催いたします。

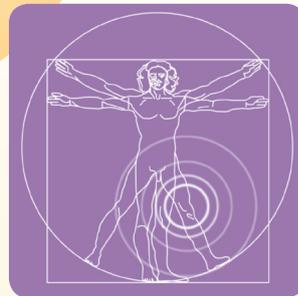
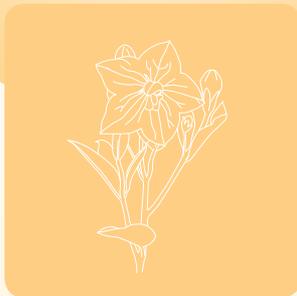
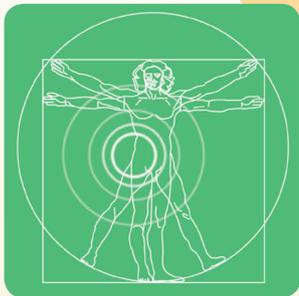
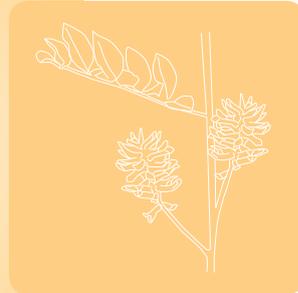
オンデマンド配信を予定しております

(一般講演・優秀賞ノミネート講演のみ)

配信期間：2024年8月1日(木)～8月31日(土) 予定



プログラム



日時

2024年7月6日(土)

9:00～18:05

会場

東京コンファレンスセンター・品川

東京都港区港南1-9-36 アエリア品川

会長

間宮 敬子

信州大学医学部附属病院
信州がんセンター 緩和部門

共催：日本疼痛漢方研究会 / 株式会社ツムラ

日本疼痛漢方研究会ホームページ：

<https://www.toutsu-kampo.com/>

ご案内

参加者の皆様へ

1. 参加について

- 1) 第36回日本疼痛漢方研究会学術集会は、現地開催およびWeb開催を併用したハイブリッド開催となります。

開催日程は、以下の通りとなります。

現地およびWeb開催：2024年7月6日（土）9：00～18：05

会場：東京コンファレンスセンター・品川

オンデマンド配信：8月1日（木）～8月31日（土）予定

（一般講演・優秀賞ノミネート講演のみ）

2. 参加申込について

- 1) 参加形態を問わず事前参加登録が必要です。

【参加登録期間：4月22日（月）～8月31日（土）オンデマンド配信終了日時まで】

当日の参加登録やオンデマンド期間中の参加登録も可能です。

- 2) 参加登録

日本疼痛漢方研究会ホームページよりご登録ください。

ホームページ：<https://www.toutsu-kampo.com/>



ご登録の際、「現地参加」または「Web参加」をご選択いただけます。

- 3) 参加証

現地参加者には、現地会場で参加証を発行させていただきます。

参加証はホルダーに入れ、会場内では必ず着用してください。

- 4) 参加費・年会費

（会員）参加費・年会費として計5,000円（参加費2,000円 / 年会費3,000円）

（非会員）当日参加費として7,000円

（顧問・監事・名誉会員）無料

（学部生）無料

- 5) 支払い方法

決済方法はクレジットカード決済のみとなります。

決済可能カード：VISA/Master Card/American Express/Diners Club/JCB

参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。

領収書や参加証明書は、マイページよりご自身でダウンロードいただけます。

期間内に、ホームページ内の参加登録ページより必要事項をご入力いただき、事前カード決済をお済ませください。

6) 当日の参加方法

(現地会場) 東京コンファレンスセンター・品川 5 階にて、8:00 より受付を開始いたします。
当日、受付での参加登録も可能ですが、混雑を防止するため、Webでの事前参加登録にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(Web 参加) 参加費のお支払い後、ご登録メールアドレス宛にマイページのログインに必要な ID・パスワードをお送りいたします。

会期一週間前(予定)からマイページ上に「WEB 会場」ボタンが表示され、学術集会を当日ご視聴いただけます。

3. 参加・視聴に関する注意事項

第 36 回日本疼痛漢方研究会学術集会における講演(以下「本講演」)の参加・視聴にあたり、以下の注意をご確認いただきますようお願い申し上げます。

- 1) 本講演の内容を無断で複製・複製・編集・録画・録音・転用(本講演のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む)など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないこと
- 2) ログイン ID やパスワードを他者に知らせたり、共有することのないよう管理すること

Web 視聴の際の推奨視聴環境は以下の通りです。

Windows 10 以降 /Google Chrome 最新版

※ JavaScript が有効な状態をご利用ください。

※上記以外の組み合わせや Mac の場合、画面が正しく表示されない、もしくは正しく機能しないことがあります。

その場合、上記推奨の環境で再度操作願います。

座長の先生へ

ご担当のセッション開始予定時刻の5分前までに次座長席にご着席ください。

Webでご登壇いただく先生は、事前に映像・音声・動作の確認をさせていただきます。

ハイブリッド開催のため、画面共有など発表準備に時間がかかることが予想されます。演題多数のため、時間調整にご配慮いただきながら、活発な討議の誘導をお願いいたします。

演者の先生へ

ご講演はすべて口演形式です。演題多数のため、講演時間の厳守をお願いいたします。

《講演時間》

- | | | | |
|--------------|------|-----------------|--------------|
| 1) 特別講演 | ：30分 | 4) 次世代に継承する漢方治療 | ：講演 50分 |
| 2) 教育講演 | ：40分 | 5) 優秀賞ノミネート講演 | ：講演 7分・質疑 3分 |
| 3) ランチョンセミナー | ：50分 | 6) 一般講演 | ：講演 7分・質疑 3分 |

《講演方法・講演データ》

講演方法について

- ・ご講演はパワーポイントによるデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)にてお願いいたします。

<会場での講演>

講演データ受付(またはパソコン持ち込み)

- ・各講演セッション開始の30分前までに『PC受付(5階第1会場前ホワイエ)』にて受付および動作確認を行ってください。

講演データについて

- ・本文の文字サイズは、28pt以上を推奨いたします。
 - ・スライドの比率は、16:9を推奨いたします。
 - ・お持ち込みいただく講演データは、『USBフラッシュメモリーまたはCD-Rのメディアお持ち込み』もしくは『ご自身のパソコンお持ち込み』のいずれかでお願いいたします。
 - ・メディア持ち込みのときは、PowerPoint 2016・2019・365で作成されたデータのみといたします。
- ※他のパワーポイントのバージョンでご講演されるときは、パソコンのお持ち込みにご協力ください。
- ・ご講演内容に動画・音声を使用される時、もしくはMacintoshを使用される時は、必ずご自身のパソコンをお持ち込みください。

《諸注意》

- ・パソコンを持ち込まれるときは、ACアダプターを各自持参してください。
- ・ファイル名は「演題番号演者名.pptx」としてください。
- ・接続はHDMIまたはD-sub15ピン3列のコネクター(通常の外部モニター出力端子)となります。
- ・パソコンの外部モニター出力端子の形状を必ず事前にご確認いただき、必要なときは接続端子を持参してください。

< Web での講演 >

スライドのご提出について

- ・不具合などの配信トラブルを避けるため、出来る限り事前収録配信をお願いいたします。
- ・質疑応答は、事前収録配信の場合も可能な限りライブでのご対応をいただけますようお願いいたします。

座長・演者のオンライン参加方法

- ・任意の場所より、ご自身のパソコンでご参加ください。
- ※安定配信のため、できるだけインターネットにつながる通信環境のよい静かな場所をお選びいただき、可能な限り有線 LAN に接続してください。
- ・Zoom を使用いたします。座長・演者用の Zoom URL は、事前にメールにてお送りいたします。視聴用の Zoom URL とは異なりますので、ご注意ください。
- ・当日は該当セッション開始 30 分前までにログインをお願いいたします。映像・音声・動作の確認を実施します。
- ・ご自身のパソコンにカメラ、スピーカー、マイクが付属されているかご確認ください。可能な限り、マイク付きイヤホンやヘッドセットマイクなどをご使用ください。

< 視聴者からの質問機能 >

ライブ配信中は、視聴者が視聴画面上で座長へ質問を送信できます。座長は、質疑応答の際にご活用ください。

※質問は、座長のみが確認できます。演者・視聴者は質問内容を確認することはできません。

《利益相反の開示》

当日の発表スライドにて、ご講演演題に関連する利益相反の開示をお願いいたします。

開示内容、開示スライド雛形は、研究会ホームページに掲載しています。

<https://www.toutsu-kampo.com/>

《個人情報の保護》

学術集会におけるご講演においては、患者の個人情報保護にご配慮ください。

(「学術集会発表時の個人情報保護に関する指針」を研究会ホームページに掲載しています。)

https://www.toutsu-kampo.com/wp_kanri/wp-content/uploads/2023/04/kojin.pdf

第36回学術集会スケジュール

第1会場「大ホール」		第2会場「501」	
9:00	開会の挨拶・オープニングリマーク	9:00	(第1会場 中継)
9:10	一般講演1 《運動器・関節の痛み》	9:10	一般講演3 《頭部痛》
10:10	一般講演2 《痛覚変調性疼痛》	10:10	一般講演4 《歯・口腔内の痛み①》
11:00	休憩(10分)	11:00	第1会場の中継
11:10	優秀賞ノミネート講演		
12:00	休憩(15分)		
12:15	ランチョンセミナー		
13:05	休憩(10分)		
13:15	総会		
13:30	休憩(10分)		
13:40	特別講演		
14:10	休憩(10分)		
14:20	教育講演		
15:00	休憩(10分)	15:10	一般講演7 《神経の痛み②》
15:10	一般講演5 《女性の痛み》	15:40	一般講演8 《外傷後疼痛》
16:10	一般講演6 《神経の痛み①》	16:40	休憩(10分)
16:50	休憩(10分)	16:50	一般講演9 《歯・口腔内の痛み②》
17:00	次世代に継承する漢方治療 「腰下肢痛の漢方治療」	17:40	第1会場の中継
17:50			
18:00	優秀賞表彰式		
18:05	閉会の挨拶		

「第36回日本疼痛漢方研究会学術集会 プログラム」

開会の挨拶

(9:00～9:10)

会 長：間宮 敬子（信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門）

■第1会場 一般講演1《運動器・関節の痛み》

(9:10～10:10)

座 長：境 徹也（佐世保共済病院 ペインクリニック麻酔科）

高雄由美子（兵庫医科大学病院 ペインクリニック部）

1-1) 芍薬甘草湯の代替漢方薬が慢性疼痛に奏効した1例

岐阜県総合医療センター産婦人科・東洋医学科

佐藤 泰昌

1-2) 頸肩腕痛に対して漢方薬の併用が疼痛緩和に有効であった超高齢者の一症例

国際医療福祉大学成田病院

稲垣 喜三

1-3) 陰血不足と湿熱を有する関節痛に対する漢方薬の使用経験

赤羽牧洋記念クリニック

東儀 洋

1-4) 腰痛・坐骨神経痛に対する八味地黄丸の効果予測因子としての三陰交における触診所見の検討

昭和大学大学院 医学研究科 生体制御学分野¹⁾、昭和大学藤が丘病院 整形外科²⁾

○奥茂 敬恭¹⁾²⁾、神崎 浩二²⁾、砂川 正隆¹⁾

1-5) 重症足虚血病変の慢性疼痛に対する経絡および気血水に基づく漢方治療について

富士クリニック

藤田周一郎

1-6) 漢方薬で改善を見た腓骨神経麻痺症例

青森慈恵会病院漢方内科・麻酔科¹⁾、弘前大学医学部附属病院麻酔科²⁾

○坪 敏仁¹⁾、工藤 隆司²⁾

■第1会場 一般講演2《痛覚変調性疼痛》

(10:10～11:00)

座 長：大畑 光彦（岩手医科大学医学部 麻酔学講座）

1-7) 身体症状症と考えられた慢性腹痛を訴える思春期患者への漢方治療の有効性

岡本内科クリニック

岡本 章寛

1-8) 日本伝統鍼灸と漢方薬の組み合わせにより良好な除痛が得られた痛覚変調性疼痛による体動困難の一例

三井記念病院 総合内科・膠原病リウマチ内科¹⁾、東邦大学医療センター大森病院東洋医学科²⁾、

三井記念病院 緩和ケア科³⁾、清明院⁴⁾、(一社)北辰会 学術副部長⁵⁾

○増田 卓也¹⁾²⁾、江川健一郎³⁾、峯村 信嘉¹⁾、竹下 有⁴⁾⁵⁾、田中耕一郎²⁾、中島 啓喜¹⁾

1-9) 痛覚変調性疼痛と思われる両肩上腕痛に対してデュロキセチンと漢方薬の併用が奏功した1例

福岡徳洲会病院

○吉野 裕子、宇野 武司

1-10) 痛覚変調性疼痛による非定型的全身性慢性疼痛に対して漢方薬治療が奏功した2例
北海道大学病院
○黒川 達哉、伊藤 智樹、宮田 和磨、森本 裕二

1-11) 当院の慢性疼痛集学的治療チームにおける漢方処方への検討
兵庫医科大学病院ペインクリニック部
○高雄由美子、土井 陽子、佐藤 和美、石本 大輔

休 憩

(11:00 ~ 11:10)

■第2会場 一般講演3《頭部痛》

(9:10 ~ 10:10)

座 長：山口孝二郎（昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門）
今泉 うの（神奈川歯科大学 麻酔科学講座 歯科麻酔学分野）

2-1) 五苓散の非選択的 CGRP 受容体拮抗作用を利用したエレヌマブと五苓散を併用した片頭痛診療について

埼玉医科大学 脳神経内科¹⁾、埼玉医科大学 東洋医学科²⁾

○光藤 尚¹⁾²⁾、溝井 令一¹⁾²⁾、岡田 多恵²⁾、山元 敏正¹⁾、鈴木 朋子²⁾

2-2) 頭痛を合併した持続性特発性顔面痛に漢方薬が有効であった1症例

一般財団法人住友病院 麻酔科¹⁾、和泉市立総合医療センター 緩和医療科²⁾、
JCHO 大阪病院 緩和ケア・ペインクリニック科³⁾

○西村 杏香¹⁾、川原 玲子²⁾、清水 雅子³⁾、鳥井 直子¹⁾、濱田 拓¹⁾、吉川 範子¹⁾

2-3) 大後頭神経三叉神経症候群による顔面痛に漢方治療が奏効した1症例

福井大学医学部附属病院¹⁾、中村病院²⁾

○関 久美子¹⁾、竹内 健二²⁾

2-4) 難治性の突発性三叉神経痛に対して漢方薬が奏効した1症例

小松市民病院

北川 潤

2-5) 漢方薬が有効であった三叉神経領域の帯状疱疹後神経痛

岐阜大学医学部附属病院麻酔科疼痛治療科¹⁾、岐阜大学医学部附属病院東洋医学²⁾

○操 奈美¹⁾、熊田 恵介²⁾、金 優¹⁾、中村 好美¹⁾、中西真由美¹⁾、新屋 苑恵¹⁾、長瀬 清¹⁾、
田辺久美子¹⁾、紙谷 義孝¹⁾

2-6) 咽頭痛に対する漢方薬の経験

まっこいしゃ高橋医院

相澤 治孝

■第2会場 一般講演4《歯・口腔内の痛み①》

(10:10 ~ 11:00)

座 長：瀬尾 憲司（新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野）

2-7) 歯科治療中の痛みに対して漢方薬併用が有効であった1症例

JA 愛知厚生連江南厚生病院

黒川 修二

2-8) 下顎骨の慢性骨髓炎に対して漢方薬が奏効したと考えられた2症例

新潟大学医歯学総合病院歯科麻酔科¹⁾、新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔学分野²⁾

○田中 裕¹⁾、倉田 行伸²⁾、瀬尾 憲司²⁾

2-9) 薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に伴う症状に対する漢方薬の使用経験

岐阜西濃医療センター西美濃厚生病院 歯科口腔外科

杉山 貴敏

2-10) 扁平苔癬の粘膜痛と神経痛症状に対して漢方製剤が奏功した1症例

九州歯科大学老年障害者歯科学分野、ナタリーデンタルクリニック

柿木 保明

2-11) 漢方薬の内服による Grade 2 の放射線性咽頭粘膜炎発症遅延の効果

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔保健学¹⁾、

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔腫瘍治療学²⁾、長崎大学病院 口腔管理センター³⁾、

長崎大学病院 歯科衛生士室⁴⁾、佐世保中央病院 放射線治療科⁵⁾、

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科⁶⁾、

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線科⁷⁾

○川下由美子¹⁾、梅田 正博²⁾、村田 真穂²⁾、吉松 昌子³⁾、白石 千秋³⁾、大森 彩⁴⁾、山崎 拓也⁵⁾、
西 秀昭⁶⁾、黒木 唯文³⁾、五月女さき子¹⁾、鶴飼 孝³⁾、東家 亮⁷⁾、熊井 良彦⁶⁾

休 憩

(11:00 ~ 11:10)

■第1会場 優秀賞ノミネート講演

(11:10 ~ 12:00)

座 長：關山 裕詩 (帝京大学医学部 麻酔科学講座)

砂川 正隆 (昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門)

N-1) 月経に伴う下腹部、外陰痛に対する漢方薬の効果に関する症例集積研究

宮崎大学医学部附属病院遺伝カウンセリング部¹⁾、宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部²⁾、

宮崎大学医学部医療人育成推進センター³⁾

○山口 昌俊¹⁾、綾部 貴典²⁾、安倍 弘生³⁾

N-2) 三叉神経痛・舌咽神経痛の漢方療法に関する文献的検討

昭和大学 医学部生理学講座生体制御学部門¹⁾、長島町国民健康保険平尾歯科診療所²⁾、

鹿児島大学病院 歯科麻酔全身管理学分野³⁾、

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 生体機能制御学講座⁴⁾

○山口孝二郎¹⁾、砂川 正隆¹⁾、新田 英明²⁾、杉村 光隆³⁾、山下 薫³⁾、佐藤 友昭⁴⁾

N-3) 口腔灼熱症候群 (舌痛症) における漢方薬の短期的鎮痛効果：単独コホート研究

北海道大学大学院 歯学研究院 / 歯学院 口腔病態学分野口腔診断内科学教室

○板垣 竜樹、坂田健一郎

N-4) 茵陳蒿湯によるヒト骨肉腫細胞性細胞における炎症性サイトカイン及び骨形成マーカーへの影響

大阪歯科大学歯科医学教育開発室¹⁾、松本歯科大学薬理学講座²⁾

○王 宝禮¹⁾、大草 亘考¹⁾、益野 一哉¹⁾、瀧沢 努²⁾、今村 泰弘²⁾

N-5) 拘束ストレスマウスにおける抑肝散、加味帰脾湯、人参養栄湯の投与後の脳内エンドカンナビノイド (2-アラキドノイルグリセロール) の分布の変化

浜松医科大学 細胞分子解剖学講座¹⁾、浜松医科大学 国際マスメージングセンター²⁾、

聖隷三方原病院 麻酔科ペインクリニック³⁾、株式会社ツムラ ツムラ先端技術研究所⁴⁾

○佐藤 徳子¹⁾³⁾、松本 隆志⁴⁾、Qing Zhai¹⁾、Isram Md Monirul¹⁾、坂本 匠¹⁾、高橋 豊¹⁾²⁾、
佐藤 智仁¹⁾²⁾、華表 友暁¹⁾²⁾、瀨藤 光利¹⁾²⁾

休 憩

(12:00 ~ 12:15)

■第1会場 ランチョンセミナー (12:15～13:05)
座長：濱口 眞輔 (獨協医科大学医学部 麻酔科学講座)

『臨床の視点で考える痛覚変調性疼痛とは?』

東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部 / 麻酔科・痛みセンター 住谷 昌彦

休憩 (13:05～13:15)

総会 (13:15～13:30)

休憩 (13:30～13:40)

■第1会場 特別講演 (13:40～14:10)
座長：間宮 敬子 (信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門)

『最近経験した様々な疼痛疾患』

千葉中央メディカルセンター 和漢診療科 寺澤 捷年

休憩 (14:10～14:20)

■第1会場 教育講演 (14:20～15:00)
座長：齊藤 洋司 (益田地域医療センター医師会病院、島根大学医学部 緩和ケア学)

『医学教育と漢方』

東京大学名誉教授

公益社団法人地域医療振興協会 北村 聖

休憩 (15:00～15:10)

■第1会場 一般講演5《女性の痛み》 (15:10～16:10)
座長：平川奈緒美 (医療法人平川病院 麻酔科・ペインクリニック科)
中西 美保 (滋賀医科大学 麻酔学講座)

1-12) 更年期障害に伴う手の痛みに対して漢方治療を行った5症例

札幌白石産科婦人科病院

武田 智幸

1-13) 化学療法に伴う腹部の冷えと痛みに対当帰四逆加呉茱萸生姜湯が奏功した1症例

大阪公立大学大学院医学研究科麻酔科学講座

○矢部 充英、山崎 広之、長谷川 涌也、宅野 結貴、辻川 翔吾、森 隆

1-14) 婦人科がんサバイバーの予期性悪心・嘔吐に対し漢方治療が奏効した4症例の検討

総合病院土浦協同病院産婦人科¹⁾、かしの葉レディースクリニック²⁾、つくばセントラル病院産婦人科³⁾、
東邦大学薬学部⁴⁾

○松岡 竜也¹⁾、岡村 麻子²⁾³⁾⁴⁾、島袋 剛二¹⁾

1-15) 婦人科手術後に見られた原因不明の治療抵抗性の外陰部痛と不眠に対し漢方治療が奏効した1例

清水医院

清水 正彦

1-16) 10 年来の慢性外陰部痛に対し漢方薬と少量の抗うつ薬が奏功した症例
市立ひらかた病院 麻酔科¹⁾、関西医科大学総合医療センター 麻酔科²⁾、
関西医科大学総合医療センター 婦人科³⁾
○大井由美子¹⁾、緒方 洪輔²⁾、梶本めぐみ³⁾

1-17) 女性の舌痛症と慢性外陰痛に奏効する漢方薬からみた共通点と相違点
香川大学¹⁾、川崎医科大学²⁾
○塩田 敦子¹⁾、山本 健太¹⁾、木戸 瑞江¹⁾、中村 祐¹⁾、中條 浩介¹⁾、中村 丈洋²⁾、金西 賢治¹⁾

■第 1 会場 一般講演 6 《神経の痛み①》

(16:10 ~ 16:50)

座 長：園田 拓郎（鹿児島市医師会病院 ペインクリニック内科）

1-18) 中枢神経障害性疼痛と随伴症状に対して漢方薬が有効であった 1 症例
鳥取大学医学部附属病院ペインクリニック外科
○大槻 明広、遠藤 涼、青木 亜紀、湊 弘之、矢部 成基

1-19) ハイブリッド療法で完治した難治性神経障害性疼痛症例
北九州市立門司病院
緒方 政則

1-20) 薬剤誘発性末梢神経障害による両下肢痛としびれに漢方薬が有効であった 1 症例
京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部
上野 博司

1-21) 膀胱痛に対する漢方薬の効果～間質性膀胱炎モデルラットを用いた基礎研究～
昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門¹⁾、昭和大学統括研究推進センター²⁾、
昭和大学医学部泌尿器科学講座³⁾
○砂川 正隆¹⁾、塚田 愛¹⁾²⁾、井上 達貴³⁾、角川 義樹³⁾、安達 直樹¹⁾、奥茂 敬恭¹⁾、
山口孝二郎¹⁾、深貝 隆志³⁾

休 憩

(16:50 ~ 17:00)

■第 2 会場 一般講演 7 《神経の痛み②》

(15:10 ~ 15:40)

座 長：中谷 俊彦（三朝温泉病院 麻酔科）

2-12) 仙骨神経根嚢腫による下肢後面、陰部痛と長年悩んでいた右下腹部痛に漢方薬が奏功した 1 例
社会医療法人孝仁会札幌孝仁会記念病院 脊椎脊髄外科¹⁾、
社会医療法人孝仁会札幌孝仁会記念病院 脳神経外科²⁾、
社会医療法人孝仁会釧路孝仁会記念病院 脳神経外科³⁾
○村上 友宏¹⁾、入江 伸介²⁾、齋藤 孝次³⁾

2-13) 遷延する術後創部痛をはじめとした全身の痛みに対して漢方薬が奏功した一例
大阪公立大学大学院医学研究科麻酔科学
○宅野 結貴、矢部 充英、長谷川湧也、辻川 翔吾、森 隆

2-14) 難治性の帯状疱疹痛に対して漢方治療が奏功した症例
祐愛会織田病院 麻酔科
中平 圭

■第2会場 一般講演8《外傷後疼痛》

(15:40～16:40)

座長：吉田 祐文（喜連川社会復帰促進センター）

境 徹也（佐世保共済病院 ペインクリニック麻酔科）

2-15) 脊椎関連慢性疼痛に対する漢方治療中に偽性アルドステロン症が疑われた一症例

独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院 勤労者骨・関節疾患治療研究センター¹⁾、
独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院 内科²⁾

○今村 寿宏¹⁾、吉田 萌²⁾

2-16) 転倒により生じた挫創に対して潤肌膏の変方が奏効した1例

済生会横浜市南部病院 脳神経内科¹⁾、小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター²⁾

○中江 啓晴¹⁾、草鹿砥宗隆²⁾、小菅 孝明²⁾

2-17) 殿部打撲後に遷延する尾骨部痛に対し、漢方薬が奏功した一例

やなぎ整形外科・漢方クリニック

柳澤 道朗

2-18) 漢方薬が有用であった外傷後慢性疼痛の1例

神戸市立医療センター西市民病院¹⁾、医療法人社団岐黄会 西本クリニック²⁾

○藤原 弘之¹⁾、西本 隆²⁾

2-19) 術後感染や糖尿病壊疽による足趾切断後の難治性潰瘍など軟部組織諸問題に対する漢方薬の効果についての考察

沖縄県立中部病院¹⁾、仲原漢方クリニック²⁾

○普天間朝拓¹⁾、仲原 靖夫²⁾

2-20) 整形外科外傷後の漢方薬使用と患者満足度評価

医療法人社団山本・前田記念会 前田病院

○前田 浩行、前田 睦浩

休 憩

(16:40～16:50)

■第2会場 一般講演9《歯・口腔内の痛み②》

(16:50～17:40)

座長：三浦 一恵（鶴見大学歯学部 歯科麻酔学講座）

2-21) プラキシズムにより治癒が阻害された舌咬創の治療に漢方薬を用いた小児の1例

公立館林厚生病院 歯科口腔外科¹⁾、

群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座²⁾

○五味 暁憲¹⁾²⁾、高野 淳志¹⁾、横尾 聡²⁾

2-22) 口腔乾燥及び舌・頬粘膜歯痕を伴う舌痛症に対して漢方薬が奏効した一例

長島町国民健康保険平尾診療所¹⁾、医療法人ハヤの会 田中矯正歯科 歯科慢性疾患診療室²⁾、

昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門³⁾、鹿児島大学病院 口腔顎顔面外科学分野⁴⁾、

鹿児島大学病院 歯科麻酔科⁵⁾

○新田 英明¹⁾、山口孝二郎²⁾³⁾、鈴木 甫⁴⁾、山下 薫⁵⁾、杉村 光隆⁵⁾

2-23) 舌痛症に対する2種類の漢方薬の比較検討

りゅう歯科クリニック¹⁾、(医)雅翔会 橋本歯科医院²⁾

○安陪 春菜¹⁾、橋本 雅人²⁾

2-24) 舌の痛みの改善に漢方が有効であった一例

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野¹⁾、

東京医科歯科大学病院 歯科ペインクリニック²⁾

○楠 英将¹⁾、山崎 陽子¹⁾、川嶋 正人²⁾、坂元 麻弥²⁾、井村 紘子²⁾、栗栖 諒子²⁾、
嶋田 昌彦²⁾、前田 茂¹⁾

2-25) 舌痛症に対する漢方薬の使用経験 (第2報)

小松市民病院

○松本 成雄、宮澤 広樹

■第1会場 次世代に継承する漢方治療

(17:00 ~ 17:50)

座長：宮西 圭太 (医療法人秋麗会 みやにし整形外科リウマチ科)

『腰下肢痛の漢方治療』

平田ペインクリニック 平田 道彦

優秀賞表彰式

(17:50 ~ 18:00)

閉会の挨拶

(18:00 ~ 18:05)

会長：間宮 敬子 (信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門)

MEMO

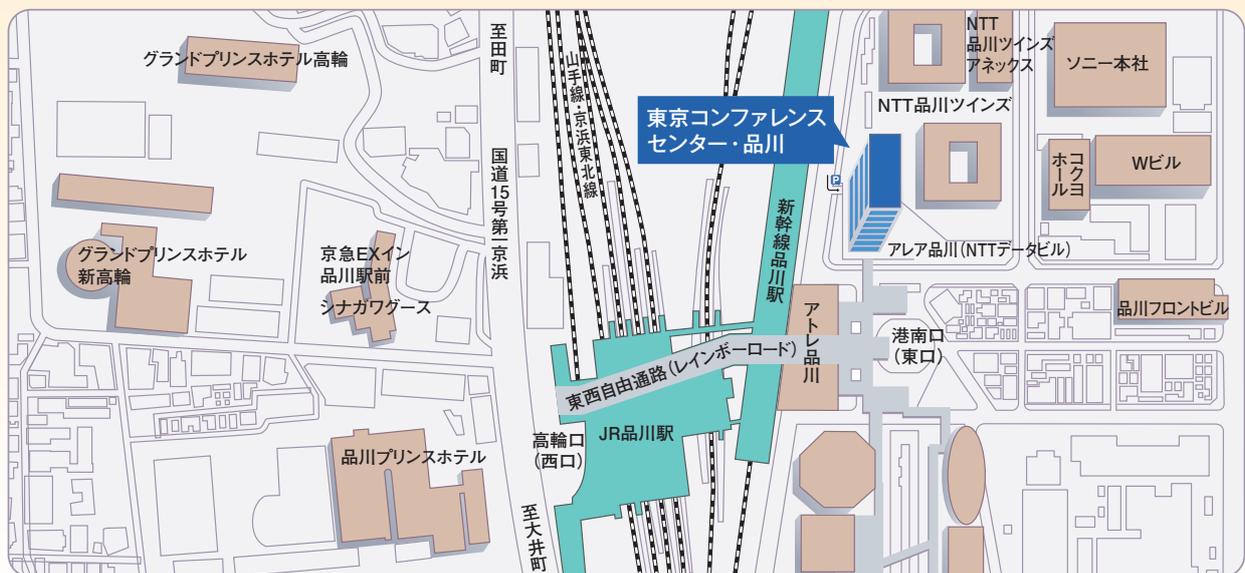
A series of horizontal dotted lines for writing.

会場案内

東京コンファレンスセンター・品川

東京都港区港南 1-9-36 アレア品川

TEL 03-6717-7000



アクセス

- 新幹線・JR 品川駅港南口（東口）より徒歩約2分
- 羽田空港から
羽田空港→品川（京浜急行利用）約24分
- 東京駅から
東京→品川（JR利用）約12分

連絡先：

第36回日本疼痛漢方研究会学術集会 共催事務局

〒107-8521 東京都港区赤坂2丁目17番11号

赤坂シグマタワービル 4階 株式会社ツムラ 企画推進部内

TEL (ツムラお客様相談窓口)：

0120-329-970 (対応時間：9:00-17:30 平日のみ)

E-mail：toutsu@mail.tsumura.co.jp